



横芝

広報

横芝町の人口と世帯

(3月1日現在)

人口	13,355 (+14)
男	6,493 (+12)
女	6,862 (+2)
世帯数	3,377 (+2)
() 内は前月比	

産業・生活・教育の

二本柱を主体の新予算

昭和五十一年度の新予算を定める三月定例議会は、三月五日に召集され、会期を五日間とし、五日と八日の二日間にはわたって開催されました。

本議会には、五十一年度に行われる道路関係予算あるいは、学校整備など重要な事業の実施に伴う予算の審議が行われました。なお、この議会で佐瀬町長は次のような新年度予算の編成方針をのべております。

緊縮型でも よい町造りがモットー

我が国の経済は狂乱物価による後遺症が意外に深く等加えて国家予算も現在ロッキード事件にふりまわされて暫定予算になるかどうか予想の出来ない状況にあります。更に、地方自治体の財政は困窮の度を加え極めてきびしい状況下におかれていることはご承知のとおりであります。

このような状況下における町の一般会計新年度予算の収支のバランスをみると、総額では前年当初を三・五%上回り九億八千三十三万四となりましたが、特に収支面におきましては不況の影響が非常に大きく、町民税の減収はいちぢるしい次第でございます。

前年度当初予算と比較しまして町民税は一四%(二千六百六十九万六千円)の減額でございます。特に、法人町民税はいちぢるしい減

取をしめしております。かろうじて固定資産税の改正により八百七十七万四千円、あるいはタバコ消費税の五百八十六万五千円の伸びにより総額二億九千六十七万九千円を確保いたしました。前年度対比といたしまして収支面においては二%減で五百七十四万一千円の減収でございます。収入の第二の柱であります地方交付税は、三億二千七百八十三万九千円で前年度対比四・八%増の千五百六十七千円を見込んでおりまして税の減収分をかううしておぎなっているのが現状でございます。以上のような厳しい状況をふまえて、いよいよ低成長時代に突入を予想いたしまして新年度予算編成にあたりまして、おもいきった緊縮型予算を基本に編成した次第でございます。

まず、過去の高度成長下の着ぶくれしたわが横芝町の内政問題を重点におきまして、水ぶくれしたところのぜい肉をおとし、若干の風邪をひいてもやむを得ないとい

うような考え方で相当のメスを入れまして、特に人件費の圧縮による諸種の節約にとめると共に行政サービスの低下を防ぐように心がけた所存でございます。

まず、内政問題で第一は職員の設定削減、配置転換の断行と今だかつてない一つの人事問題を行うわけでございますが、現在わが町には一三五名の職員がおりまして内部に一三〇人、広域行政、水道企業団に五名派遣しております。

これらの派遣職員の身分転換等による定数削減。第二は職員定年制の設置。第三は管理職手当及び時間外手当の一部カット、第四は庁内清掃の委託廃止。第五は各種団体補助金の一部カット。第七は特別職の常勤・非常勤関係者の報酬の据置き(第三・七は当分の間)以上、新年度の第一次対策として実施した次第であります。

次に本年度の歳出予算の大綱について申し上げますと、私は町造りの基本を産業振興、住民の生活環境の整備、社会教育環境の整備この三つを柱としてかかげております。中小企業の育成あるいは農業振興対策には非常に苦しい財源の中から重点的に予算を投入したつもりであります。又住民の生活環境の整備においても下水整備事業、あるいは生活道路の整備事業というものに対しましては昨年度をはるかに上回る予算を計上したわけであります。社会教育の中では特に青少年対策といたしまして懸案の野球場の造成に県費五〇〇万円の獲得に成功いたしました。

福祉対策といたしましても、特別児童養護施設あるいは民間の分譲住宅への入居に伴って増加した保育児童のための保育所の整備が急務とされ、第一保育所の定員九十名を五十名増員して一四〇名定員といたしました。増築を急ぎよ予算計上いたしました。これによりまして入所希望の保育児は全部収容できると考えております。又、外部的要素による施策といたしましては、かねてから懸案となっておりまして新東京国際空港もいよいよ本年度末の開港も時間の問題となつて参りました。騒音対策といたしまして、あらたに職員態勢を拡充して専任職員の配置を行い将来は独立した騒音対策室なり課の設置等も考えなくてはなりません。これも議会の皆さんと充分協議して議会内における特別委員会の設置、あるいは住民代表を中心とした騒音対策委員会の設置等、至急に対応策を検討したい所存でございます。又、大総工業団地の跡地利用の問題、あるいは海岸開発に伴う海岸博物館の問題、東陽病院問題、山武水道企業の水道問題、成田用水の土地改良問題、駅前広場の整備の問題など数々の重要問題が山積しておりますけれどもそれぞれ町単独ではできない外部的要因がありますので議会の皆様方と今後協議しながらこの難問題を一つ一つ解決していきたい所存でございます。